

【5】インシデント事例からの注意喚起

平成 29 年 6 月の院内インシデント報告事例の中から、医薬品を安全に使用するために注意すべき事例などを挙げています。

服用タイミングに注意が必要な薬剤について

各薬剤は開発段階において、最適な用法が検討されていますが、内服薬については、服用タイミングが各々で異なるため各添付文書の用法に従う必要があります。

誤った服用タイミングをとった場合、目的とする作用の減弱や過度の作用増強、食物・薬物相互作用の発生、副作用発現率の上昇等をきたす可能性があります。次に、各服用タイミングによってもたらされる代表的な効果と該当する当院採用薬についてまとめました。

服用タイミング	代表的な効果
食後	他のタイミングに比較し服用忘れが少ない 薬剤による消化管への刺激作用を緩和する 薬剤の吸収効率を上昇させる 例) 多くの薬剤が該当
食前	食事によりもたらされる症状を緩和する 食物相互作用を回避し、薬剤の吸収効率を上昇させる 例) 漢方薬、アコファイド、インタール、イトプリド塩酸塩「トーワ」、エパルレスタット「EK」、サノレックス、ドンペリドン「EMEC」、メトクロプラミド「トーワ」、リルテック、リンゼス等
食直前	食事によりもたらされる症状を緩和する 薬剤の吸収効率を上昇させる 食前投与によりおこる副作用を回避する 例) クラバモックス、アカルボース「ファイザー」、グルファスト、グルベス、シュアポスト、スターシス、セイブル、フォスブロック、ボグリボース「日医工」等
食事中 食直後	薬剤による消化管への刺激作用を緩和する 薬剤の吸収効率を上昇させる *「食事中又は食直後」の記載あり 例) レイアタッツ*、プリジスタナイーブ*、ディアコミット*、ヘマンジオールシロップ*、エスカゾール、エパデール、イトラコナゾール「SW」、ロトリガ、リオナ、リパクレオン、ホスレノール等
起床時	特に吸収効率が悪い薬剤において、胃内での食物・薬物相互作用を回避する 例) ビスホスホネート類等

服用タイミング [※]	代表的な効果
眠前	食物相互作用を回避し、薬剤の吸収効率を上昇させる 中枢神経抑制作用による副作用が起きても支障がない 例) 睡眠剤、抗アレルギー薬等
空腹時 ^{※1}	胃粘膜に直接作用する 食物相互作用を回避し、薬剤の吸収効率を上昇させる 食前に比較し、胃内容物との相互作用が少ない 例) 別表参照

※1: 1 時間以上前又は食後 2 時間以降

別表：当院採用薬における“空腹時”服用薬剤の一覧

販売名	備考
アフィニール錠 2.5mg (院外)、同錠 5mg (患限)	食後服用で血中濃度 50%減少。食後もしくは空腹時一定条件で服用
アルロイドG内用液 5%	本剤の作用(消化管粘膜保護作用)を効果的に発揮させるため
イトリゾール内用液 1% (科限)	食直後服用で T_{max} ^{※2} の遷延、 C_{max} ^{※3} 及びAUC ^{※4} の減少
エクジェイド懸濁用錠 125mg (患限)	食後服用で C_{max} 及びAUCの増加、高脂肪食の摂取時では空腹時と比較して 1.8 倍増
サーティカン錠 0.25mg (科限)	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少
ザイティガ錠 250mg (科限)	食後服用で C_{max} (7 倍)及びAUC(5 倍)の増加
ジオトリフ錠 20mg (患限)、同錠 30mg (患限)、同錠 40mg (患限)	食後服用で C_{max} (40%)及びAUC (50%)の減少
ジスロマック SR 成人用ドライシロップ 2g/瓶	食後服用で C_{max} (2.2 倍)の増加
スチバーガ錠 40mg (患限)	食後服用で C_{max} (154%)及びAUC(136%)の増加
ストロメクトール錠 3mg (科限)	食後服用で AUC の減少
タフィンラーカプセル 50mg(院外)、同カプセル 75mg(院外)	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少、 T_{max} の遷延
ディレグラ配合錠	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少
テモゾロミド錠「NK」20mg(科限)、同錠 100mg (科限)	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少、 T_{max} の遷延
ニンラーロカプセル 3mg(患限)、同カプセル 4mg (患限)	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少
バラクルード錠 0.5mg	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少、 T_{max} の遷延
ビラノア錠 20mg	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少
プログラフカプセル 0.5mg (科限)、同カプセル 1mg、同顆粒 0.2mg	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少、 T_{max} の遷延、食後もしくは空腹時一定条件で服用

販売名	備考
メキニスト錠 0.5mg(院外)、同錠 2mg(院外)	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少
メタルカプターゼカプセル 100mg	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少
ユービット錠 100mg	尿素呼気試験は空腹時に実施されるため
ラジレス錠 150mg	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少、 T_{max} の遷延
リファンピシンカプセル 150mg「サンド」	食後服用で吸収速度、バイオアベイラビリティの低下が報告されている 添付文書上、朝食前服用に設定されている
レボレード錠 12.5mg (患限)	食後服用で C_{max} 及びAUCの減少

実際の臨床現場においては、各薬剤の服用タイミングは、患者の症状や服薬状況等によって本来の用法から変更される例もあります。そのような場合には、薬効の確保と、副作用の回避ができるかどうか十分に検討し、服用タイミングを設定するようにしてください。

(参考文献)

添付文書、インタビューフォーム

※2: T_{max} ; 最大血中濃度到達時間、※3: C_{max} ; 最大血中濃度、※4: AUC; 血中濃度曲線下面積

